

# 新幹線プレス

2012年4月24日 No.43

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## ITF（国際運輸労連）国際行動日にビラ配布・署名活動！

4月23日、JR総連・JR貨物労組・JR東海労新幹線地本は、ITF（国際運輸労連）国際行動日に、品川駅港南口で、原発の再稼働を許さないためのビラ配布行動・「さよなら原発1000万署名」行動を行いました。

行動には雨の中、40名の仲間が結集し、一人ひとりが熱意を持って市民に「原発に依存しない社会をつくろう」「すべての原発を止めよう」「子供たちの明るい未来をつくろう」などの声を出し訴えました。その結果、1100枚のビラが受け取られました。また、多くの署名を頂きました。



## 原発再稼働を許さない！1000万署名を実現しよう！

政府は、定期点検中の大飯原発のストレステストを行い、「安全性が確認された」「夏の電力不足を補うため」とし、再稼働を「妥当」と判断しました。しかし、本当に安全が確認されているのでしょうか。事故発生時に対策拠点となる免震事務棟や原子炉の圧力を下げるベント（排気）時に放射性物質を取り除くフィルターも完成していないのです。また関西電力は「一昨年並みの猛暑になったとき、最大二割の電力不足になる」と試算していますが、あくまで関西電力の試算で、節電の効果や電力融通の実態は国民にはよく分からないものです。政府の大飯原発再稼働の方針は、再稼働を急ぐ電力会社・経済産業省官僚などの意向を汲んだものといえます。

福島第一原発は今も汚染水を排出し残骸をさらし続けています。また、未だに帰れない人が16万人に上ります。この現実を政府はしっかり見るべきです。そして子供たちの明るい未来に責任をもつべきです。



JR東海労新幹線地本は、原発の再稼働を絶対認めることはできません。全ての原発の再稼働に反対し、原発の廃炉を求めます。そのための「さよなら原発1000万署名」の実現に向けさらに取り組みを強化していきます。